



■2025年8月の予定表をお送りします。

8月は大会が多くて、三段池が使える日が限られています。また近年は猛暑酷暑でもあり、無理には練習を入れておりません。全体練習は2回だけですがご無理のないようにお願いいたします。一般の方で、選手を目指したい方はナイター練習への参加も可能ですので、希望される方はご連絡ください。せっかくの夏休みですので、テニス以外のいろんなことにチャレンジしてください。

■公式戦に向けて



関西ジュニアには谷山紗希選手がお出場できました。中体連は、近畿大会出場にあと一歩でした。サマージュニアから来年の京都ジュニア（関西ジュニア予選）に向けてのポイントカウントが始まります。

サマージュニアの後は、11月のDUNLOP全国選抜予選（12歳、14歳）1月のMUFG京都府予選（16歳以下）が、ポイント対象大会です。1月のウィンタージュニアはポイント対象外です。その他京都JTCのオータムなどもありますが、練習試合は各自でいろんな大会に出てみてください。

■猛暑が続くので体調管理に注意！！



練習には多めのドリンク（できればスポーツドリンク）タオルをお忘れなく！手洗いとうがいを励行し、睡眠と食事もしっかり取って、免疫力の低下に注意！

テニスの豆知識 107

■中体連

中体連の硬式テニスは、京都府、京都市と近畿まで、全国中体連には硬式テニスは加盟しておりません。したがって中体連の全国大会（いわゆる全中）は、硬式テニスにはありません。一般的に硬式テニスで全中と呼んでいるのは日本テニス協会の「全国中学生テニス選手権大会」で、中体連とは無関係です。このことが長らく中学生段階での硬式テニス普及に大きな妨げとなっていました。戦後いち早く学校体育に取り入れられたソフトテニスが中学校のテニス部として定着してしまい、硬式テニスはその普及の機会を失ってしまいました。



したがって以前は「硬式はボールや用具が高い」などの理由があげられておりましたが、今日では硬式もソフトテニスも似たような用具代になっております。

中学校の部活がどこも難しい状況になっている今日、民間クラブとの連携で、硬式テニスを部活として実施するチャンスが広がっていると思います。クラブチームが中学校の部活動の役割を担うことができれば、現在の危機的な競技人口の減少に歯止めをかけることができるかもしれません。

しかし海水浴に行かなくなってしまったのと同じく、真夏の炎天下にテニスをするという人は明らかに減っています。まして近年の異常な酷暑は、今後も続くのでしょうか、冷房のきいた体育館で行う「ピックルボール」の方が広まるかも知れません。

■サマージュニア低年齢は9/20～です。

FJTC福知山ジュニアテニスクラブ（京都共栄学園内）

620-0933 福知山市篠尾62-5 tel.0773-22-6241 <http://www.fjtc.jp>
代表・京都府テニス協会理事 國田 敦・090-3058-5576 Mail : info@kyoed.jp

